

キャラクター名
ラング・ガウスト

プレイヤー名

種族	ドワーフ	種族特徴	暗視、剣の加護/炎身		
生まれ	戦士	性別	男	年齢	32
冒険者Lv	2	経歴	高レベルの魔法をかけられたことがある		
経験点	500		一か所に5日以上滞在したことがない 特定の色を激しく嫌っている(嫌っていた)		

能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
器用度	14			17	2
敏捷度	6			9	1
筋力	8			20	3
生命力	9			21	3
知力	3			8	1
精神力	14			19	3

技能	Lv.	技能	Lv.
ファイター	2		
エンハンサー	1		

技能	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本ダメージ
ファイター	2	4	3	5
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	ハードレザー		13	0	4
盾	ラウンドシールド		8		1
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能	ファイター	合計値	3	5	

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ヘビーメイス	1H両	15	1	2d+ 5	12	5	20										
				2d+													
				2d+													

一般装備品	(消耗チェック)
冒険者セット	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
食器セット	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
保存食	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
着替えセット	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
ヒーリングポーションx2	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

所持金	237	預金・借金	
	G		G

戦闘特技		威力	属性	備考
全力攻撃	225	p		p
		p		p
		p		p
		p		p
		p		p
		p		p
		p		p
		p		p
		p		p

言語	会話	読文
交易共通語	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ドワーフ語	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3	9	27	2d+ 3	5	27

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+ 0/X	2d+ 0	2d+ 5	2d+ 5	19

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力

練技/呪歌/騎芸/賦術	
ビートルスキン	

名誉アイテム	点数
名誉点 所持 0 /合計 0	

装備品		説明
頭	バンダナ	
耳		
顔		
首		
背中	ポンチョ	フード付き
右手	手袋	革製
腰		
足	ブーツ	
その他		

装備品		説明
左手	手袋	革製

— その他メモ —

ラング・ガウストは罪人である。しかし、彼は何故そんなことになったのか、全く記憶がない。彼は知らないが、かつて恨みを買った相手に罪を着せられ、その容疑のかかっている時間帯の記憶を操霊魔法スティールメモリーによって奪われていたのだ。

容疑を掛けたのはある地方の貴族である。貴族は執念深い性格で有名で、遠くザルツ地方まで逃げてきたラングを追手を出して追跡させ続けている。幸運にもその都度撃退し続けているが、噂によれば、追手も追手で無理矢理ラングを追わされて疲弊しているとか。

その貴族家の掲げている色が「赤」であるため、赤を見ると反射的に飛び上がってしまう。嫌いなものは鏡。

自らを無実だと信じ逃げ続けているため、根無し草の生活を続けている。

追われる理由を探し求め、冒険者となった。

追われすぎて自由を追い求めるようになり、風来神ル=ロウドを信仰するようになった

自動失敗チェック
⑤
⑩
⑱
⑳
㉑
㉒
㉓
㉔